

令和7年度事業報告

社会福祉法人 和 松 会

1. 役員会等の開催状況

(1) 監事監査等

令和7年5月28日・法人監事による令和6年度事業全般及び決算の監査
令和7年11月27日・法人監事による令和7年度事業全般の中間監査

(2) 令和7年6月6日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和6年度事業報告
- ・令和6年度決算報告・社会福祉充実残額について・法人監事による監査結果報告
- ・理事・監事・評議員候補者の選任について
- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・定時評議員会の開催日程及び議事内容について

〈報告事項〉

- ・管理職5人体制への移行について
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

(3) 令和7年6月21日 評議員会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和6年度決算報告・法人監事による監査結果報告
- ・理事・監事の選任について

(4) 令和7年6月21日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・理事長・業務執行理事の選定

(5) 令和7年12月6日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和7年度法人及び施設会計第一次補正予算について
- ・各施設の給食外部委託について
- ・清松園の造成入札について

〈報告事項〉

- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

(6) 令和8年3月9日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・清松園新築工事における入札参加資格委員会の設置について
- ・和松園施設長、法人本部事務長の選任について

〈報告事項〉

- ・清松園新築工事の進捗状況について

(7) 令和8年3月20日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和7年度法人及び施設会計第2次補正予算について

- ・令和8年度事業計画(案)並びに当初予算(案)について
- ・令和8年度嘱託医師との委託契約について
- ・令和8年度各施設の給食外部委託契約について
- ・清松園新築工事の予算変更並びに借入金の変更について
- ・役員等賠償補償の契約締結について
- ・規程の改正について

〈報告事項〉

- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

2. 事業の状況

令和7年度は、社会情勢が大きく変化した年度となりました。特に年度末に起こった国際情勢の急激な変化に伴うエネルギー供給への不安は、世界的に大規模な混乱をもたらしました。社会福祉は勿論、日本全体が大きな不安要素を抱えてしまっている状況が続いています。気候変動も大きく、近隣市でも台風による大きな被害がありました。このように、これまで前例のない事態に直面した一年だったと言えるかもしれません。そのような中、和松会は清松園の移転事業に注力しつつ、各事業所の堅実な運営の実現、次を担う人材の確保・育成、将来を見据えた体制の検討という3点を中心に事業に取り組んできました。

移転事業に関しては国県補助も通り、令和9年4月の事業開始に向けて準備を進めています。各事業所の運営については、感染症への対策は変わらず行いながら、安定した運営を心掛けてきました。高齢者の方・障害者の方を取り巻く状況も変わりつつありますが、各事業所がとらえている地域のニーズに応えられるように努めました。また、管理体制を変更しつつ事業を円滑に進められるよう、検討を進めました。人材確保面では、新卒の新規採用職員1名、中途の採用職員1名、非常勤からの転用職員1名を迎えることが出来ました。しかし、人材確保の困難さは続いています。8年度も注力しつつ、新規採用以外の人材確保についても取り組んでいかなければなりません。

国県補助が通ったとはいえ、例を見ない物価高や物資の不足等、清松園の移築事業は楽観視できる状況ではありません。老朽化が進む松寿園の在り方やデイサービスの方向性、建物が残る現在の清松園の対応等、中長期にわたって方向性を考え、進めていくべき事項が多くあります。7年度は、過渡期に入っている数年間の中の1年間といえます。8年度は更に検討を続け、和松会が今後進む先を導き出していきたいと考えています。

3. 法人の借入金の償還状況

各施設建設の借入金の償還に関して、事業収入及び償還補助金にて順調に返済しています。令和7年度の元金償還額は17,444千円となりました。8年度には松秀園建設の借入金について、償還完了する予定です。

期首借入金残高	66,680千円
期中借入額	0千円
期中元金返済額	17,444千円
期末借入金残高	49,236千円
(内1年以内返済予定額)	(17,444千円)

4. 地域（福祉）交流・地域貢献活動の実施状況

感染症対策を行いながら、ボランティアさんの活動や事業所を地域の方に開放する等、様々な取り組みを実施してきました。台風15号による竜巻被害の際にはDWAT登録員を複数回派遣し支援を行いました。

(1) 地域・在宅福祉活動の推進、地域貢献

短期入所事業・日中一時支援事業・外出支援サービス・移送サービス・生きがい講座・喫茶、障害者相談支援事業等、各施設が持つ機能を積極的に展開して在宅生活を支援しました。

(2) 長寿安楽地蔵尊大祭の開催

長寿安楽地蔵尊大祭に関して、令和7年8月25日（月）に開催しました。小笠青僧会の皆様のご協力のもと、和田まつ様の遺徳をしのび、地域の安全及び関係者の長寿と安楽の祈願を致しました。

(3) 福祉教育活動の推進

近隣幼保園、小学校、中学校や高校の体験学習の場として、また、大学や専門学校等の実習生、菊川市家庭医療センターの研修医の受け入れ等を積極的に行い、実践の場を提供しました。

5. 総合防災訓練の実施状況

施設毎に毎月防災訓練を実施しています。近隣(高橋口・棚草・三協)自治会非常救護班との連絡会議をコロナ禍後初めて再開し、意見交換を行いました。夜間合同防災訓練に関しては昨年度同様、日中の時間帯に変更し、松寿園において実施しました。

6. 苦情解決第三者委員

苦情解決第三者委員として2名を選任、苦情解決委員会に出席していただき、各施設の苦情・事故・ひやりはっとの状況を共有、助言をいただいています。今年度より苦情解決委員会については四半期に一度の開催とし、新たに虐待防止検討委員会への出席をお願いしています。苦情に関してはケアマネジメントセンターで1件受け付けています。真摯に対応させていただき、解決しています。